

新年度（2016-4月以降）のスイッチング支援に関する実務者会議について（案）1

■概要（主旨）

- ①スイッチング支援に関する実務者会議は、2016年4月の電力小売全面自由化に向け、スイッチング業務を円滑に行うための業務運用ルールおよびシステム利用に関する検討を行ってきました。
- ②全面自由化開始後もシステム機能追加・改修の検討など、システム運用開始以降も継続して検討を行っていく必要があり、本会議を継続して運営する必要があると考えます。
- ③現在の本会議にご参加頂いている事業者の方々に新年度以降も継続して本会議にご参加、ご協力頂きたいと考えます。

■継続検討課題（暫定）

- ・スイッチング関係ルール追加・修正の検討
- ・スイッチング支援システムの機能の追加・改修
- ・30分電力量BPの検証・改定
- ・小売-送配電間情報連携の新規BPおよび標準帳票の検討
- ・小売-小売間の情報連携

■開催頻度

1回/月程度を予定。
（毎月第3木曜日を予定）

参加事業者一覧（敬称略）

SBパワー	昭和シェル石油
エネット	電気事業連合会
F-Power	東京ガス
大阪ガス	東京電力
オリックス	丸紅
関西電力	

※経済産業省（電力市場整備室、電力取引監視等委員会）から引き続きオブザーバー参加をお願いします。